

平成27年度 施策評価表

	課・グループ名	都市整備課土木グループ
作成年月日:平成28年9月1日		

施策名	①治水対策の推進 5-3-①		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり (3) 安全、安心な生活を支える防災・防犯対策の推進		①治水対策の推進
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●水害のないまちづくりを形成するために、引き続き総合的な治水対策を推進します。 ●治水対策事業の早期完成のため、関係自治体並びに期成会による要望活動を行います。 ●堤防については、河川管理者と連携を図り、監視体制の強化に努めます。 ●普通河川及び幹線排水路の排水能力を確保するため、計画的に維持管理・補修を行うと共に環境整備を行います。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●千歳川河川整備計画に基づく治水対策として、堤防整備、河道掘削、遊水地の整備が進められています。 ●夕張シューパロダムは平成27年度完成予定で事業が進められています。 ●内水排除施設及び普通河川並びに幹線排水路の維持管理・補修を行い、治水対策を推進しています。 ●堤防については、毎年河川管理者と水防管理団体による合同の河川巡視を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●平成17年に策定された千歳川河川整備計画に基づく治水対策は、事業期間が30年とされており、早期の完成が望まれます。 ●遊水地整備の早期完成と完成後の利活用方法を検討し、事業を推進する必要があります。 ●治水対策、農業用水確保、さらに水道用水の確保のためにも夕張シューパロダムの計画通りの完成が望まれます。 ●治水対策の実施や内水排除施設、普通河川及び幹線排水路の維持管理には、地域の理解と協力が必要となります。また、老朽化により排水路の補修を計画的に進める必要があります。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化	
			成果指標 (総合計画・施策評価)			可能	
						不可能	
						○ 未計測	
			代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定	
		※特定のデータ化等が困難であるため指標なし			可能		
					○ 不可能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H24	H25	H26	H27	H28	
目 標							
実 績							
達成率	%						
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)			施策の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も早期完成に向け引き続き国に要望を行う。 ・普通河川及び幹線排水路、内水排除施設については、適正な管理を行い治水対策を進めていく。 	
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)			B		
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果											施策への 貢献度 <高い> <普通> <低い>		
事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業 評価結果 (方向性)		事業費(千円)	
					目標	実績						単位	H27実績
1	機場(基幹水利)施設管理事業	(2)	都市整備課	施設稼動時における機能不全件数	0		件	適正な点検の実施及び必要時の稼動。 施設整備費用の負担。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	45,128	普通
					0							55,352	
2	排水路管理事業	(2)	都市整備課	①管理不備による洪水被害回数 ②害虫の大量発生回数	1		回	・市街地内の普通河川の草刈りの実施。 ・幹線排水路の床ざらいの実施。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	10,744	普通
					①0 ②0							11,064	
3													
4													
5													

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H27事業費	55,872
H28予算	66,416

②H28に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	<ul style="list-style-type: none"> ・内水排除施設管理については、国、道から補助を受け管理を行っている。 ・排水路管理については、硫化能力が低下させないため計画的な管理を行っている。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	B	

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。		事業の 方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降 の予算の方向性	
	A									
	B	1							拡大	
	C	2						○	維持	
	D								縮小	